

平成11年(1999)3月号 通巻 第26号 (年2回 3月・8月発行)

# 翔生 (しょうせい)

Symbol Logomark これまで各地商工会議所で使用されている商工会議所マークの下に、ゴシック体でデザインしたシンプルで馴染み易いロゴマークとなっています。ロゴは、商工会議所青年部の英語名 (Young



発行 全国商工会議所青年部連合会 〒100-0005東京部千代田区丸の内3-2-2 日本商工会議所中小企業振興部内 ☎03-3283-7852 編集 広報委員会

美南 龍彦 元副委員長 田中 三太郎 元委員長 山口 洋一 元委員長 川口 浩一 元委員長 藤田 正幸 元委員長 田原 三石村 元委員長 委 委 委 員 員 員 員 員 員

Entrepreneurs Group)の頭文字をとったものですが、同時に商工会議所青年部の持つコンセプト(若さ、情熱、広い視野をもった経営者=Youth, Energy, Generalist)を表しています。

## 平成11年度役員挨拶



### アントレプレナーズスピリッツ 今起こそう、経済維新の風

平成11年度商青連会長 北島重利

「年は一九九九年と七ヶ月恐怖の大王が天より姿を現すだろう彼はアンゴロアの大王を蘇生させその前後は火星が幸せに支配する」これは世紀末についてのノストラダムスの有名な予言です。一九九〇年代に入り、政治・経済・社会をはじめとした様々な分野でこれまで閉鎖的なシステムを脱してきた日本にグローバル化の波が押し寄せ、かつて日本が経験したことがないような出来事がある。あらゆる分野で次々と起こり、さらには世界各地でそれまでの体制を大きく変える様々な改革が起こっています。とりわけ、私たちの業界者にとって大きな問題である日本経済の情勢については、この数年、長く暗いトンネルの中にもいっている状態で、景気回復の兆しが一向に見えてきません。

回復どころか、自動車業界の再編成、参議院選挙での自民党の惨敗、アジア通貨危機に伴う円安の進展・株価の下落、長銀問題等々、劇的な変化が大企業のみならず私たちが中小企業さえも呑み込むものとしてあります。日本経済は世界経済の中で生き残るかどうかの瀬戸際に立たされているといつても過言ではないでしょう。

二十一世紀を目前に控え、この先、何が起こり、時代がどの方向に向かっていくのかを従来の価値観や考え方で判断することは出来ません。先ず、基本姿勢を原点に戻り、新しい時代に対応した新しいものを自ら創っていく必要がありそうです。そこで、YEGの全国的な組織である商青連の

事業はどうあるべきでしょうか？まず、地域に根ざした各所のYEGの為に原点である「役に立つ商青連づくり」をすることが重要であると考えます。人自身、人と人とのつながりに重きを置き、それらを有効に活用する。このことできる土台づくりが商青連の事業であると考えます。

「変化の胎動」という言葉が使われ、景気の先行きに明るい変化の兆しが見えたとの理解が広がり、私たちは、中小企業を営む我々には、まだまだ厳冬期にあるというのが実感です。平成11年度の活動が、経済がプラス成長に転換し、安定成長の軌道に乗ってもらいたいものであります。

平成11年度、北島会長が目指す「役に立つ商青連づくり」を、中地区担当・研修担当として実践していきます。本年は、中地区新潟で開催される全国大会を成功させるべく全力を尽くします。

平成11年度、北島会長と副会長の拜命を受けました。今後とも宜しく「役に立つ商青連」活動の為に、まず始めに商青連活動自体の認知度を高める必要があると思われ。このことにより、各種大会の存在意義や個々の活動の意義を知らしめる事が出来、さらには商青連への新規加入の促進の為に、積極的な情報開示・PRを行うべきだと思っております。

具体的には、各種情報伝達の方法、手段の再検討(インターネット関連・ホームページの更迭等)さらには、プロモーション・ビデオの作成等検討していきます。システムの構築のみならず、真の意味での全国ネットワーク・意識づくりを行ない仲間を増やし、組織自体が役に立つ商青連連理を行っていただきたいと思っております。

平成11年度の、連携事業の取組の年度、連携事業「商青連」と関わり始めて5年になろうとしています。良く周りからは「大変だね」「良くやるね」とねぎらわれ、感謝の言葉をかけられていきます。しかし、自分自身も「商青連」との関わりで多くの友を得、自らの商売・自らの地域に役立つ見識を得ることもできました。一単会、一地域に居たのには見えなかったものが見えるようになったのであります。

「商青連」で、次年度は専務理事という大役をお任せいただきとなり。自分自身も未熟で勉強中ではありますが、出向者が、YEGの単会が、全国のYEGの仲間が同じ想いを共有できるように「役に立つ商青連」に務めて参りたいと思っております。皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。



倉橋 純造 副会長



永井 隆 副会長(東地区)



加藤 団秀 副会長(中地区)



野村 忠秀 専務理事

|        |        |                   |                   |                   |                   |                   |                       |
|--------|--------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-----------------------|
| 監事     | 代表理事   | アントレプレナーズ委員会      | 広報委員会             | 研修委員会             | 企画委員会             | 総務委員会             | 会長                    |
|        |        | 担当副会長 委員長 副委員長 委員 | 担当副会長 委員長 副委員長 委員 | 担当副会長 委員長 副委員長 委員 | 担当副会長 委員長 副委員長 委員 | 担当副会長 委員長 副委員長 委員 | 直前会長 専務理事 委員長 副委員長 委員 |
| 足立     | 板垣     | 石橋                | 加藤                | 菅野                | 川口                | 佐藤                | 北島                    |
| 善信     | 清志     | 吉賀                | 橋本                | 菅野                | 川口                | 佐藤                | 重利                    |
| 吹田(大阪) | 豊田(愛知) | 石橋                | 橋本                | 菅野                | 川口                | 佐藤                | 博次                    |
|        |        | 石橋                | 橋本                | 菅野                | 川口                | 佐藤                | 徳島(徳島)                |
|        |        | 石橋                | 橋本                | 菅野                | 川口                | 佐藤                | 徳島(徳島)                |
|        |        | 石橋                | 橋本                | 菅野                | 川口                | 佐藤                | 徳島(徳島)                |

# 委員会活動報告

## 総務委員会

委員長 福田 有史 (久留米YEG)

総務委員会委員  
委員長 福田 有史 (久留米YEG)

委員  
高橋 隆野 (花巻YEG)  
日野 照晃 (足利YEG)  
西野 裕平 (八尾YEG)  
西野 裕平 (岡山YEG)

専務理事 右智 (半田YEG)

総務委員会の第一義的任務は、円滑な役員会・総務部の進行並びに会議内容を明確にする事が必要だと思われまふ。具体的には、審議・協議・報告事項を明確にする事により、論点を集中的に議論出来、それを反映していくことができれば、組織上の問題点、矛盾点を考え、この事について継続的な検討課題として、整備していく必要があると思われまふ。

調査、研究していく過程において、現在、商青連出向理事として出向して来ている人々

## 研修委員会

委員長 伊藤 孝一 (松江YEG)

研修委員会委員  
委員長 伊藤 孝一 (松江YEG)

委員  
加城 祐史 (網走YEG)  
大平 均 (いわきYEG)  
井古 一 (佐原YEG)  
古西 成貴 (鳥羽YEG)  
世古 泰宏 (奈良YEG)  
廣瀬 一郎 (坂出YEG)  
下瀬 宮崎 (宮崎YEG)

担当副会長 松本 晴之 (米子YEG)

平成10年度の研修委員会事業は、各地YEG連携を目的に6月京都の地にてYEGヤングリーダー研修、7月千葉葉巻張にて第2回YEGヤングリーダー研修、そして8月カリブック(浜松)にて研修生と3ヶ月連続での事業展開となりました。手作りの交流、開催地のYEGとの交流と当初目的に添った事業展開が出来たと思っております。恐惶前後といわれる98年度、最近な課題ですぐに役に立つ研修を！と委員会で立てた研修の基、

## 企画委員会

委員長 山本 吉己 (袋井YEG)

企画委員会委員  
委員長 山本 吉己 (袋井YEG)

委員  
橋本 純造 (青森YEG)  
倉敷 純亨 (茅ヶ崎YEG)  
数田 博臣 (新津YEG)  
原村 幸司 (今治YEG)  
牧野 啓一郎 (鹿兒島YEG)

担当副会長 北島 重利 (徳島YEG)

本年の企画委員会は、①18回全国大会、青森大会への指導・助言、②第16回全国会長研修会(今治への指導、助言)、③平成12年度全国大会・平成11年度全国会長研修会の立候補届の審査および検討ならびに④全国大会における物産展・ビジネス交流プラザに対する指導・助言を活動内容とした。

①は、1月の役員予定者会議をスタートとして、3・4月の各役員会での検討、5月の役員会で開催内容の承認を得、7月の現地視察を経て11月実施に至る。

②は、9月の現地視察を兼ねた主管理地実行委員会と合同の委員会開催をスタートとして、

10月の役員会において開催内容の承認を得、2月実施に至る。

③は、4月に受理された立候補届をもとに、6・7月の現地視察を経て、7月の役員会において、12年度全国大会は鹿兒島県連に、11年度全国会長研修会は花巻YEGに各々決定される。

④は、特にビジネス交流プラザが特別委員会の企画として、YEG青森メッセとして、盛り上げをみせた。

以上の内容ですが、これら活動に尽力してくれました各役員にお礼をいし、そして現地視察でお世話になりました関係者の皆様へ御礼申し上げます。

## 広報委員会

委員長 河波 忠兵衛 (京都YEG)

広報委員会委員  
委員長 阿波 忠兵衛 (京都YEG)

委員  
石澤 聡行 (天童YEG)  
村田 茂行 (藤岡YEG)  
服部 久央 (大津YEG)  
秋元 吉晴 (高砂YEG)  
三吉 雅健 (長崎YEG)

担当副会長 山口 元美 (各務原YEG)

平成10年度広報委員会では、第1に広報誌「翔生」の編集及びび2回の発行。第2に全国商工会議所青年部連合会ホームページの立ち上げ。全国に散らばった委員会の皆さんとお会いするのは、役員会以外にはありません。この時節、出版費を減らし、且つ円滑に委員会運営をするために広報誌「翔生」編集と「ホームページ」作成を分担して取りかかろうことに致しました。

委員の協力を得て、委員会と共に3度及び日商とのハイブ役をお勤め頂いた田口副会長にも感謝いたします。

# YEGヤングリーダー研修

本年のYEGヤングリーダー研修は、「連携」「交流」「友情」を念頭に、「連携委員会」による手作りの事業計画を立案し、そして実行致しました。7月京都、8月千葉(幕張)と2ヶ月連続での事業展開となり研修委員メンバー皆目の回る思いでした。研修予定人数は、各会場ごとに200名を予定し、ほぼ予定人数にて開催できました。

京都会場では、柳屋製菓所会長堀場氏とイタリヤード柳北村氏の講演とKJ法を活用してのグループディスカッション、最後に京都の文化を取り入れての懇親会。

千葉(幕張)会場においては、講師にユニ・チャーム社長高原氏と千葉県商工会議所連合会長王置氏の講演会そして京都会場と同じようにコミュニケーションを重視したディスカッション及び懇親会を行いました。

アンケート集計を見ますと、ほぼ満足行く内容にて研修事業が出来たと思えます。(アンケート集計表参照)

研修委員会の人数設定は打ち合わせなど、研修委員会の人数だけでは開催できずどうするか?このことについては、開地でのYEG及びその県連の協力により解決して行きました。また、事業への協力を頂くことで我々委員会メンバーと開地地のYEGとの連携、「交流」「友情」の実践が出来たと思えます。

ヤングリーダー研修としては、去年に続いて2回目でしたが、事業を終えて感じたことは、「果たしてヤングリーダーとのスタンスでいいのか?」と大いに疑問を持ったことです。30歳代以下は40歳前後は、次代を担う若手経営者ではなく、今すでに時代を担っている経営者であるはずですが、それをヤングといえるのでしょうか。今日の経

2. 今回の会場は、参加し易かったですか?  
1 参加し易かった  
2 参加しにくかった  
3 希望開催地  
4 回答なし

3. 本研修会への参加を他のYEGメンバーにも勧めますか?  
1 勧める  
2 あまり勧めない  
3 回答なし  
4 勧めない

4. 今回の研修において、他の参加者と交流できましたか?  
1 交流できた  
2 あり交流できなかった  
3 わからぬ  
4 回答なし

5. 今回の研修において、商青連役員と交流できましたか?  
1 交流できた  
2 あり交流できなかった  
3 わからぬ  
4 回答なし

6. 機会があれば、商青連に出向したいと思いませんか?  
1 思う  
2 あまり思わない  
3 わからぬ  
4 回答なし

7. 7年間の希望開催回数はいくつですか?  
1 1回  
2 2回  
3 3回  
4 4回  
5 回答なし

8. 参加申し込み方法は?  
1 今年度と同様でよい  
2 原則全参加  
3 回答なし  
4 回答なし

9. 研修の内容は?  
1 有名講師の講演  
2 実習中心  
3 意見交換  
4 その他  
5 回答なし

| 項目                            | 京都   | 幕張   |
|-------------------------------|--|--|
| 1. 今回の研修で良かったものは?             | 1 講師 37%<br>2 グループディスカッション 33%<br>3 交流会 22%<br>4 回答なし 8%           | 1 講師 45%<br>2 グループディスカッション 35%<br>3 交流会 17%<br>4 回答なし 2%           |
| 2. 今回の会場は、参加し易かったですか?         | 1 参加し易かった 93%<br>2 参加しにくかった 1%<br>3 希望開催地 1%<br>4 回答なし 5%          | 1 参加し易かった 93%<br>2 参加しにくかった 1%<br>3 希望開催地 5%<br>4 回答なし 1%          |
| 3. 本研修会への参加を他のYEGメンバーにも勧めますか? | 1 勧める 95%<br>2 あまり勧めない 2%<br>3 回答なし 2%<br>4 勧めない 3%                | 1 勧める 91%<br>2 あまり勧めない 8%<br>3 回答なし 1%<br>4 勧めない 1%                |
| 4. 今回の研修において、他の参加者と交流できましたか?  | 1 交流できた 89%<br>2 あり交流できなかった 7%<br>3 わからぬ 2%<br>4 回答なし 2%           | 1 交流できた 89%<br>2 あり交流できなかった 7%<br>3 わからぬ 2%<br>4 回答なし 2%           |
| 5. 今回の研修において、商青連役員と交流できましたか?  | 1 交流できた 51%<br>2 あり交流できなかった 31%<br>3 わからぬ 7%<br>4 回答なし 7%          | 1 交流できた 44%<br>2 あり交流できなかった 27%<br>3 わからぬ 9%<br>4 回答なし 20%         |
| 6. 機会があれば、商青連に出向したいと思いませんか?   | 1 思う 64%<br>2 あまり思わない 26%<br>3 わからぬ 10%<br>4 回答なし 0%               | 1 思う 39%<br>2 あまり思わない 26%<br>3 わからぬ 26%<br>4 回答なし 10%              |
| 7. 7年間の希望開催回数はいくつですか?         | 1 1回 39%<br>2 2回 26%<br>3 3回 26%<br>4 4回 10%<br>5 回答なし 0%          | 1 1回 24%<br>2 2回 25%<br>3 3回 21%<br>4 4回 24%<br>5 回答なし 6%          |
| 8. 参加申し込み方法は?                 | 1 今年度と同様でよい 85%<br>2 原則全参加 10%<br>3 回答なし 1%<br>4 回答なし 4%           | 1 今年度と同様でよい 30%<br>2 原則全参加 53%<br>3 回答なし 9%<br>4 回答なし 10%          |
| 9. 研修の内容は?                    | 1 有名講師の講演 55%<br>2 実習中心 35%<br>3 意見交換 22%<br>4 その他 8%<br>5 回答なし 0% | 1 有名講師の講演 55%<br>2 実習中心 35%<br>3 意見交換 22%<br>4 その他 8%<br>5 回答なし 0% |

# 青森全国大会報告



全国大会青森大会報告

青森大会会長 倉橋 純造

第十八回商工会議所青年部全国大会、それは94年12月から始まった招致活動から大難産の末決定した全国大会開催でありました。それだけに今、全国大会を改めて特別に感慨深いものを感じております。北国盛地でのしかも11月初冬の全国大会開催への不安。それは全国Y.E.G.メンバーの二九・三〇名の登録参加という行動でもって嬉しい結果と相成ったのです。初雪が降る頃、頭取に取って選択したねぶたの里での大懇親会、朝早からの記念講演への参加人数も危惧されましたがそれも近年まれに見る参加人数をもって、そして続く記念式典とともに我々の不安は吹き飛びました。各分科会、エクスカーション、前泊者懇親会、ゴルフ大会、物産展そして商青連特別委員会も行った青森メッセも含め全ての部分で県連一体となって企画、運営を行って参りました。

全国大会青森大会のコンセプトワードは「伝えたい、結びたい、かなえない」としてキャッチフレーズは「日本の波動が響きあう、縄文の森Y.E.G.」でした。全国から集うY.E.G.の皆様が、お互いの想いをかきあえることの出来る、そして豊か自然と歴史、文化の中に溶け込みながら今一度じっくり自分を顧みることの出来る、そのような願いを込め、我々主管する側の活性化を

求めるのではなく、来る人々のためのおもてなしを考え、結果として我々が鍛えられる」という一心で大会を準備してまいりました。その過程では今までどちらかというとあまり交流の無かった県連のメンバーが1つの目標に向かって一九となったという副産物をも得ることが出来ました。「あおももり」をそして「あおももり」で「伝えたい、結びたい、かなえない」の想いは全国Y.E.G.の皆さんへも充分とはいかないまでも伝わったのではないかと思っております。最後になりましたが、本大会の開催に際しましてご支援、ご協力頂きました諸団体、関係各位の皆様並びに、遠隔地にも係わらず本大会にご参集頂きましたY.E.G.の皆様にごより感謝を申し上げますとともに開催中の多々有り難い事を書中をも



青森大会大懇親会

つてお詫び申し上げ、大会報告とさせていただきます。

(事業報告)  
1、登録者数：2,963名  
(参加人数)  
1、Y.E.G.懇親ゴルフコンペ：64名  
2、前泊者懇親会(浅虫温泉海側園)：141名  
3、第1分科会「三内丸山遺跡と地域文化」：616名  
4、第2分科会「青森ねぶた祭りとその風土」：734名



5、第3分科会「第一次産業・農業(まほ)」：101名  
6、第4分科会「自然と超自然との共生」：69名  
7、第5分科会「Y.E.G.青森メッセ」：228名  
8、大懇親会「青森自然公園ねぶたの里」：2500名  
9、記念講演「青森市文化会館」：2000名  
10、記念式典(青森市文化会館)  
11、1泊2日エクスカーション「太宰文学」とリマン香るグルメ：112名  
12、1泊2日エクスカーション「美しい夕日」と西海岸紀行：14名  
13、日帰りエクスカーション「三内丸山遺跡体験学習」：30名  
14、物産展来場者：延べ2500名



8月7日、東北地方は災害を被るほどの豪雨に見舞われる中、青森県をはじめ秋田、岩手、南は宮城県にいたる全国各地の若きアントレプレナー40名が静岡県の商工会議所福利研修センター「カリアック」に集い、2泊3日の平成10年度「翔生塾」を、勝ち残る経営者の戦略と実践」とのテーマで開始しました。

# Y.E.G. 翔生塾



また、前年度専務理事木川氏や、本年度の役員助言及び協力を受けた4人の講師決定をしました。まさに現在商青連が目指している「連携」を実感する企画となりました。

講師と講義の内容は以下の通りです。

1日目、講義1・井浦康之氏  
 柳井浦コミュニケーションセンター社長  
 テーマ、「大変革時代に勝ち残る企業と人材育成」(ピンチはチャンス、発想を変えよ)

1日目、講義2・藤岡長道氏  
 野村證券 投資情報部長  
 テーマ、「日本経済の歴史段階と企業経営」

2日目、講義3・大平吉朗氏  
 柳大平経営会計事務所 代表取締役  
 テーマ、「勝ち残りための経営戦略」

3日目、講義4・大平吉朗氏(講義8)  
 講義5・野末陳平氏 大正大学教授  
 テーマ、「日本、日はまた昇るか」



「翔生塾」との取り組みは昨年12月、日商の会議室で開かれた平成10年度予定者会議の時からでした。我々の委員会への配属は商青連理事予定者8名が研修委員会メンバーとなり、研修委員会担当の松本10年度副会長と共に活動する事となったのです。平成9年度研修委員会所属役員より研修事業についての説明や要望があり、「ええっそんなことまでやるの?」と言うのが正直な感想でした。10年度事業としてヤングリーダー研修を2回、「翔生塾」の開催を決め、人数からして、わずか2、3名が一つの研修を担当するという事でスタートを切りました。

「翔生塾」のメイン講師選定については、今我々に一番現実的であり実践できる、中小企業大学校客員教授、大平吉朗(おだいらよしろう)氏に交渉し、2月までに事務所に電話を入れて先生の内諾を得ました。

「これからどうなる、少子高齢化社会ニホンのゆくえ」、井浦氏・藤岡氏及び大平氏の御三方には宿泊とともに講義の後、懇親の小家を兼ねて塾生との交流会に参加していただき、塾生には講義の中では得る事のない新しい発見や意見交換などを体験していただいていた、ただ一方的に聞くだけでは、充実した研修会であったとの声が多く聞かれました。

また、講師先生方の講義内容については、それぞれにお任せする形を取り、そのテーマに沿った内容でお願いしましたが大変先度の濃い内容でありました。中でも大平先生には、約1日半の集中講義を中小企業経営者の立場に立って、具体的に分かり易く講義をしていただきました。

反省として、講師謝金の決定についてはいろいろ行き違いがあり講師先生方にご迷惑をかけました。しかし、日本商工会議所の青年部連合会とお願いしたのですが、先生がたには、快く応じていただきました。気になる参加者の声ですが、全体的に満足していただけたようです。講義の終わりに参加者に感想文をお願いしましたが、ほとんどの参加者から「翔生塾」に対する感謝の言葉を寄せていただきました。

最後に、参加いただいた会員、またご協力いただいたすべての皆さんに感謝の言葉を申し上げます。



# 連携この1年。全国にリンクする特別委員会の活動報告!

# YEG

## YEG連携大賞決定

商青連では「YEG連携」を提唱し、各単会YEGの活動を支援するべく、事業活動がおこなわれてまいりましたが、10年度地域連携委員会では7年度～9年度の3年間で連携事業を実施しているYEG、10年度も継続実施されているYEGを応募募集し、連携のモデルとも言うべき事業を実施し、連携を挙げておられる事例を全国に求め、より多くのYEG仲間を紹介し、さらに新しい連携事業の指針になればとの思いから「YEG連携大賞」として表彰することにしました。今回初めての試みではありますが、地域連携小委員会一同、誠心誠意の結果をご報告致します。

昨年12月、全国381YEGに対し「YEG地域連携大賞」の応募用紙を送り、募集しましたところ、年末の慌たしい中にも48点のご応募があり、委員会一同感激しております。早速群馬県伊勢崎において1月の9、10の両日、委員会を開催し、48事業全てを目を通し慎重に検討した結果、下記の事業を推薦する事に決定いたしました。後日1月12、13の両日、静岡県のカリアックでの商青連正副会長会議に際り慎重審議していただきまして決定しました事業でございます。



今治での連携大賞表彰

①連携ビジネス賞  
事業名称 「二シンドレッドシリング」  
実施単会名 「伊勢崎YEG(群馬県)」  
推薦の理由：実際の販売に供する商品化までを実現しており、アントレプレナーシップに溢れた、連携の取り組みとビジネスチャンス作りモデルの取り組みと丁寧な安全な食品作りを通しての自然環境への配慮も評価できる。

②インパクト賞  
事業名称 「復活ゾラのすべり台」  
実施単会名 「横須賀YEG(神奈川県)」  
推薦の理由：子供にもなじみのある題材を捉えて、一般市民も含む協力団体を巻き込んだ規模の大きな事業に積極果敢に取り組んでいる。YEGらしい自主的な発想と行動力が評価できる。

③まちおこし賞  
事業名称 「鹿島ガリリンピック」  
実施単会名 「鹿島YEG(佐賀県)」  
推薦の理由：発想の転換によりマイナスイメージであった地域固有の資源を活かし、市民主体の事業に育てた。開催も13回の場にもアップし、国際交流の数にもなっている。

④広域連携賞  
事業名称 「北緯40度Bライン」連携推進協議会(への参画)  
実施単会名 「関YEG(岩手県)・北上YEG(岩手県)・花巻YEG(岩手県)・江刺YEG(岩手県)・釜石YEG(岩手県)・宮古YEG(岩手県)・大船渡YEG(岩手県)・水沢YEG(岩手県)・秋田YEG(秋田県)・横手YEG(秋田県)・大曲YEG(秋田県)・湯沢YEG(秋田県)」

⑤チャレンジャー賞  
事業名称 「第17回チャレンジャーお利根実行委員会」  
実施単会名 「前橋YEG(群馬県)・伊勢崎YEG(群馬県)・群馬県・本庄YEG(埼玉県)・深谷YEG(埼玉県)・埼玉県」

推薦の理由：河川でのボートレースという事業の性格上、YEG関連団体だけでなく、官公庁各種団体との連携が必要で、結果として行政の行政区分を超えた連携も促した。一般市民、他地域からの参加もしやすい事業である事、また発展しながら17回を数える継続性も評価できる。

以上5事業が平成10年度の受賞事業ではありますが、その他にも、町に合った事業YEGになる等、どれも工夫を凝らした事業ばかりで、委員会一同、YEGの行動力と地域に根ざした活動に改めて敬意を表します。この表彰を通して新しい連携の輪が広がることを念じています。そして皆様のご協力とご理解に感謝しつつ、併せて今後の活躍を念じています。



YEG連携大賞の紹介(今治)

## 商青連の課題と展望

平成8、9、10年度と3年連続して出向し、強く感じた点のみを記して標題に代えた「YEG年度メッセ」はこれからの商青連活動の方向性を占う意味で重要な催物だと自負している。これまでの技術交流プラザは他の諸団体でも長い歴史のあるもので、独自の研究開発分野を保持する企業の登壇目として活用されている。それは関係するスタッフが数年連続して担当しており、いわゆる「キヌキベーター」としての役割を担っており、指導・助言が適切に行われていることによる。

しかしながら、我が商青連は出向者の意思によって生じるように連続して出向する者もあれば、ほとんどは単年度であったり、その割りで委員会も固定されていない。

この場合、情報や期待成果についての時間軸での連携が行われている。これはこの数年テーマとなつてきている「連携事業」の推進の面からも疑わしい手段といえる。企業の新規事業への参入や営業地域の拡大には数年を要するのが常であり、事業の王道からいって、単年度任期はこの点で再考の必要がある。果たして、商青連が全国大会及び全国研修会やこれに連なる各ブロック大会等がセレンニ化している状況での登録競争は早晩味のない料理になつてしまうのが如しではないか。

この点を改善し、若きアントレプレナーを自認する団体として発展するためには、自認すべき計画事業と期間を設定し、各種政府諸委員会への参画や受託事業を引き受けてできる体制づくりを一つ、全国3万余名の会員へも継続した情報の提供に基づいて、まずは商青連が積極的連携を具現化して見せる必要がある。ゆえにYEG青森メッセの成果がひとつの指針となろう。また、単会からの出向者及び公委委員からなる各業種別小委員会の事業継続もまた試金石となる。

## 地域連携小委員会

井手 親良

皆様こんにちは、本年度特別委員会の地域連携委員会を担当しております佐賀県伊万里YEGの井手と申します。

平成10年度地域連携委員会の研究テーマは、「YEG姉妹提携の推進」

①地域連携提携の推進  
②YEG姉妹提携の推進  
③連携ビジネスのサクセスストーリーの集約

④二YEGのYEGネットワーク展開  
⑤全国大会での発表

というテーマで年間活動してまいりました。しかし、私を含めて6名の少人数ではどうしても難しいのではないかと考え、まして私を除いて他の5の方々(西島、石原、鈴木、池戸、大塚)各氏は公委委員の方々です。各氏は商青連の役員会の日程に合わせて、委員会の為だけに各地より参加、委員会を開いたのですが、それだけではまじまじと、委員会のメンバーの地元での開催を計画いたしました。例えば、

- 6月12日、13日 岐阜県各務原市YEGの10周年記念大会に参加し、YEG
- 8月18日、19日 神奈川県小田原市YEGでのパークゴルフ体験と小田原産YEG工場見学(鈴木氏の御社)
- 11月2日、3日 三重県鳥羽市YEGの全国連携大賞選考委員会等、役員会日程の他に委員会を計画し、実行してまいりました。
- 1月9日、10日 群馬県伊勢崎YEGでのYEG物産展参加

セプトされていて、とても有意義で素晴らしい委員会が開けたのではないかと感じます。各地域の皆様、その節は本当にお世話になりました。ありがとうございました。

ところで委員会の内容でございますが、商青連特別委員会の認知度を高める為には、どのようなPRをすれば良いか?という事で本年度は平成7年度から平成9年度、連携をスローガンにした歴代会長の言葉がどのくらい周知し、どれだけ実践されているかを確かめるべく、また今後のような連携事業の推進を目的として「YEG連携大賞」という賞を設けました。

実施いたしました。各単会におかれましては、年末の多忙の中に、48単会以上のご応募があり、我々地域連携委員会一同、感謝に絶えません。本当にありがとうございました。ご応募いただきました各単会の成果と資料は冊子にして各単会へお送りいたしますので単会の活動を参考にさせていただきます。YEGとしての役割を再認識していただければ幸いです。その他平成10年度では、青森全国大会での特別委員会「青森メッセ」の開催も、アレンジオブリ根への参加パークゴルフを全国に広める目的での体験等色々計画実行してまいりました。詳細は、各委員の方々のレポートのご報告に変えてさせていただきます。全国YEGの皆様、そしてこの様な体験をさせていただいた商青連にお礼を申し上げます。一年間本当にありがとうございました。

| 小委員会名簿                            |       |
|-----------------------------------|-------|
| 1 伊原 大井 親良 井手 家康                  | 代表取締役 |
| 2 鈴木 大井 親良 井手 家康                  | 代表取締役 |
| 3 小田原 鈴木 大井 親良 井手 家康              | 代表取締役 |
| 4 石原 池戸 大塚 一 藤田 伊藤 青木 事務取締役       | 代表取締役 |
| 5 伊勢崎 池戸 大塚 一 藤田 伊藤 青木 事務取締役      | 代表取締役 |
| 6 秋田 山内 達男 山内 達男                  | 代表取締役 |
| 7 徳島 西島 早宏 池戸 大塚 一 藤田 伊藤 青木 事務取締役 | 代表取締役 |

## 商業連携小委員会

永井 隆

新緑香る4月、奈良の地において船出をした特別委員会の、専門委員会と決定し、商業連携委員会の精鋭11名により、委員会がスタートしたのは、昨年5月のことでした。全国から新たな志を持つYEG同志が集結した商業連携委員会の結成である。小委員会として事業計画を決定するにあたり、様々な意見を聞くことにより、専門委員会個々の意向を知ることも、委員会を開くことに委員の友情も深まり、知らない間に多くの知識を身に付けていくことになりました。

模索していましたが、青森YEG加藤氏より、「まずは青森の商店街の視察をしては」との意見が提案されました。商業連携委員会はその加藤氏の企画を採用し、7月に青森の商店街視察を実施しました。

また、東京で開催した委員会において、次の候補地の選定を進める際に、小委員会の若手である白河YEG古川氏、山口YEG竹中氏、大津YEG西居氏らより、南地方の地盤本での商店街視察案が提出され、検討の結果8月に熊本視察を実施しました。

さらには、11月に全国大会の青森メッセにおいて、発表の機会をいただくこととなり、もう一つの商店街候補地について検討することになりました。もう一つの候補地については、浜松YEG龍口氏、伊勢崎YEG長島氏からの提案により、東京の亀有商店街に決定し、10月に視察を実施いたしました。

前記3ヶ所の視察研修の結果を、水戸YEG滝沢氏を中心としまして、委員会委員の協力と団結をもつて見事「青森メッセ」での商業連携委員会のブラスとなり、全国YEG同志への事例発表となりました。

1年間は振り返ってみると、とても大変な1年ではありましたが、全国に新しい仲間との出会いがあり、互いに研鑽しあい、友情を深めることができ、とても感謝しております。そのようなにも、ものも変えがたいインターネットワークをつくれる事が、商連連携の魅力と考えております。最後に、全国YEGメンバーの皆様がますますのご活躍を、発展することを、祈念し、事業報告概要をいたします。ありがとうございます。

|       |    |          |       |
|-------|----|----------|-------|
| 1 水戸  | 水戸 | 降 (株)ナガイ | 代表取締役 |
| 2 浜松  | 龍口 | 信 (株)ナガイ | 代表取締役 |
| 3 福岡  | 平野 | 明和 平野製菓  | 代表者   |
| 4 徳島  | 長島 | 徳島ナガイ    | 代表者   |
| 5 大津  | 西居 | 基晴 (株)西居 | 代表取締役 |
| 6 能代  | 浜野 | 巧 (有)なまご | 代表取締役 |
| 7 青森  | 加藤 | 博 (株)加藤  | 代表取締役 |
| 8 山口  | 竹中 | 一郎 (株)忠実 | 代表取締役 |
| 9 郡山  | 矢吹 | 一 (株)忠実  | 代表取締役 |
| 10 水戸 | 滝沢 | 昇 (株)ナガイ | 代表取締役 |
| 11 白河 | 古川 | 直文 株大黒屋  | 専務    |

## 製造業 製造業連携 小委員会

森下 祐治

平成10年度の4月よりスタートして、自分と全国より集まっていた10人のメンバーで製造業連携委員会として提案出来るものは何かを考えました。その結果「環境問題」をテーマにしようとした。平成11年2月の今治の会長研修会で委員会の環境問題の冊子を配布しようとするまいという勢いでありましたが、なかなかメンバー全員が集まらず協議することが出来ず困っていましたところ、青森の全国大会で竹川副委員長にいろいろ相談して、東京での特別

委員会が環境問題に精通してもらえる越智副委員長に調べていただき、山本委員にまとめていただき、製造業連携委員の「これだけは知っておく」ISO9000、ISO14000という冊子をつくって、会長研修会で発表をはじけました。

さらには、11月に全国大会の青森メッセに、さまざまな製造業に携わっていただけるメンバーと一緒に活動をしてきましたが、自分と仲間の環境問題に対する温度差を感じながらも、楽しかった。これからは、それぞれ地域でがんばっている仲間と、商連携という熱い思いをもった仲間がいかにらだといえます。特別委員会の皆さんから一年間本当にありがとうございました。

|       |    |           |       |
|-------|----|-----------|-------|
| 1 徳島  | 森下 | 祐治 石川     | 取締役   |
| 2 伊勢崎 | 竹上 | 泰久 坂上印刷   | 専務取締役 |
| 3 福岡  | 坂上 | 泰久 坂上印刷   | 専務取締役 |
| 4 徳島  | 江見 | 信 (株)ナガイ  | 代表取締役 |
| 5 徳島  | 久子 | 久子 (株)ナガイ | 代表取締役 |
| 6 青森  | 加藤 | 博 (株)加藤   | 代表取締役 |
| 7 大津  | 山田 | 信二 (株)山田  | 代表取締役 |
| 8 山口  | 山田 | 信二 (株)山田  | 代表取締役 |
| 9 奈良  | 山本 | 昌子 (株)ナガイ | 代表    |
| 10 青森 | 大黒 | 昭山 赤松製菓   | 代表者   |
| 11 別府 | 川田 | 真徳 徳川上製菓  | 代表者   |

## 建設・不動産 建設・不動産 小委員会

森 一弘

私は、本年度の活動の方向性として三項目を打ち出しました。

(1) 単年度の活動により、一定の成果を出す

(2) YEG単会にアピール出来る事業及びYEG委員企業の建設業及び不動産業に役に立つ、又価値のある活動

(3) 単会・会員企業に見ええる活動

この三項目をきっかけ、方針に向かつて建設・不動産の現状のヒアリング調査実施。その結果、大半が公共事業の依存度が高く各地域とも極めて厳しい経営環境にあることが判明し、建設省各官庁へのアタリクを、実施し、関係官庁をはじめ広く社会に向けて意思表示が急務であると考え、「公共事業の地方への配分拡大を求める意見書」の作成と、建設大臣への提言書提出を実施することにしました。

我々はYEG精神に則り、公共事業問題は、建設業だけの問題でなく、地方の存続をかけた重大な課題であるし、地方のまっすぐな日本の二十年後、三十年後の未来にかかわる問題と考える次第です。我々の熱い思いを、ご理解いただければ幸いです。

|      |     |          |       |
|------|-----|----------|-------|
| 1 山鹿 | 森一弘 | (有)森一弘   | 代表取締役 |
| 2 徳島 | 田中  | 道徳 田中建設  | 代表取締役 |
| 3 浜松 | 鈴木  | 健介 (株)鈴木 | 専務取締役 |
| 4 福岡 | 野村  | 賢太郎 野村建設 | 代表取締役 |
| 5 河南 | 富永  | 典夫 富永上製菓 | 代表取締役 |
| 6 鳥取 | 正   | 正 (株)正   | 代表取締役 |
| 7 徳島 | 山田  | 信二 (株)山田 | 代表取締役 |
| 8 山形 | 山田  | 信二 (株)山田 | 代表取締役 |

## サービス サービス連携 小委員会

富沢 裕史

初めて商連連に出向させていただきました。戸惑いも勉強の一年でした。商連連、九州プロックの依頼を受けたとき、商連連、九州プロックの位置付けや役割、特別委員会とは何をすればいいのか全く解りませんでした。その不安のまま平成10年度が始まりました。その後、又期待の連続の毎日の私を見守って戴いた本木副会長、佐々木委員長には感謝の気持ちでいっぱいです。この1年が私にとって、すばらしい人達との出会いと人の心の温もりを教えてくださいました。地元の見学をさせていただく。日々の出張で日程の調整が、欠席したことをお詫言ひ申し上げ、地元YEGのメンバー、大分県連の皆様をはじめYEG関係者の全ての人々、心よりお礼申し上げます。

|      |    |            |       |
|------|----|------------|-------|
| 1 佐伯 | 富沢 | 裕史 (株)富沢建設 | 専務取締役 |
| 2 浜松 | 内山 | 好弘 株大黒屋    | 支配人   |
| 3 鳥取 | 木下 | 孝志 株大黒屋    | 専務取締役 |
| 4 七尾 | 水田 | 健策 九ツ子     | 専務取締役 |
| 5 豊野 | 秋山 | 純夫 (有)の家   | 代表取締役 |

## 情報 情報連携 小委員会

篠田 好光

会員名簿のデジタル化(CD-ROM)並びに現在の経済情勢に生き残るべく情報の伝達を掲げて情報委員会活動をして参りました。情報関係の業種ではありませんが、情報はすべての業種に関係するものだと思います。委員会活動を進めてきました。予算の関係でCD-ROM作成はできませんでしたが、本年度CD-ROMを作った関東ブロック、近畿ブロックのCDを、青森全国大会YEGメッセにて紹介することができ、次年度へ向けての布石になったと思います。また、特別委員会ホームページを立ち上げることで、商連連ホームページもリンクし、特別委員会の活動を認知していただけること、さらに有益な情報を伝え

|       |    |          |       |
|-------|----|----------|-------|
| 1 各務  | 中田 | 好光 (有)中田 | 代表取締役 |
| 2 徳島  | 村田 | 康信 (株)村田 | 代表取締役 |
| 3 福岡  | 川島 | 亮一 (株)川島 | 代表取締役 |
| 4 伊勢崎 | 米田 | 隆彦 (株)米田 | 代表取締役 |
| 5 奈良  | 菊岡 | 亮一 (株)菊岡 | 代表取締役 |

## 菓子製造 菓子製造連携 小委員会

米田 隆彦

平成10年度活動報告

●第1回 平成10年5月20日  
京都会議所3Fチェンバールサロン  
参加14名

●第2回 平成10年5月20日  
製造小委員会からの菓子部会長の経緯と目的の確認。京都YEGの会長・直前会長が菓子製造・競合のない情報交換が目的。

●7月1日・2日  
菓子製造連携小委員会 参加4社  
特別委員会 懇親会 甚太古(じんだこ)

●7月24日  
菓子製造連携小委員会 参加14社

|      |    |            |       |
|------|----|------------|-------|
| 1 佐伯 | 富沢 | 裕史 (株)富沢建設 | 専務取締役 |
| 2 浜松 | 内山 | 好弘 株大黒屋    | 支配人   |
| 3 鳥取 | 木下 | 孝志 株大黒屋    | 専務取締役 |
| 4 七尾 | 水田 | 健策 九ツ子     | 専務取締役 |
| 5 豊野 | 秋山 | 純夫 (有)の家   | 代表取締役 |

## 菓子製造 菓子製造連携 小委員会

米田 隆彦

●平成10年5月22日  
菓子製造連携小委員会アンケート調査

- わが社で売りたい商品
- スタードバックに入ったせんざい。
- 専門店様用の商品のため量販店向きでない。個々に商談。
- 商品寿命の長い煎餅。
- だいや鍋セット・法事セット・サービスを選べる仕組み。
- 新しいライフステージの提案・三分で暖かくなる商品。
- \*特産品を使用したかき餅・あんころ餅。
- わが社に求めるもの
- 有機小豆の国産品・オーガニックに関する菓子。
- \*新しい売り方の研究。
- \*製造・保存に関する技術情報・外注先開発情報の収集。
- \*新夏餅セット・営業アドバイス・経営の指針。

\*通販のノウハウ

3. 私の考える委員会のあり方

\*人とのつながりができれば、商品を通じた新たな出会い。

\*7月菓子部会が設置、11月委員会が青森で菓子部会の集まる事業や、名簿を作成してはどうですか。を全国各社から集める。

\*自社の商品・地域性。菓子部会との橋渡し。

\*各社商品情報を交換して、1個でもお客様に買って戴く。

●5月27日(水)  
特別委員会・菓子製造連携小委員会  
場所 東商ビルサテライト2階

1. 海外進出のサクセスストーリーに学ぶ

2. ベンチャースピリットに触れる

3. 体験レポート「わが社の経営戦略」を体験

西場工業 (株) 代表取締役 西場伸一氏

3. 休眠特許の活用事例の研究

4. ソニービルト視察

5. ニュービジネス研究

YEG会員 池戸氏

YEG会員 川島氏

|       |    |          |       |
|-------|----|----------|-------|
| 1 新築  | 米田 | 隆彦 (株)米田 | 代表取締役 |
| 2 伊勢崎 | 坂上 | 泰久 坂上印刷  | 代表取締役 |
| 3 深谷  | 前井 | 勇 (株)前井  | 専務取締役 |
| 4 青井  | 前井 | 勇 (株)前井  | 専務取締役 |
| 5 奈良  | 横田 | 博司 (株)横田 | 取締役   |

## 菓子製造 菓子製造連携 小委員会

米田 隆彦

●9月22日・23日  
第3回 菓子製造連携小委員会  
場所 富山県新湊市

1. 小委員長 (株) 米田 隆彦 意見交換

2. 会場の中 市内菓子屋見学

3. 懇親会 第一イン新湊

●11月5日・7日  
全国大会青森大会  
青森メッセ準備

A. ビジネス交流ラザ

出席者 (株) グランパル 千葉松戸YEG  
スティーブ

ケイイー食品 千葉松戸YEG 製菓材料

(株) 横田福栄堂 奈良YEG 煎餅類

(株) 米田 富山 新湊YEG かき餅類

B. 物産展

出店者 (株) ハマダ 愛媛県新居浜栗浜タルト3種  
売上41500円

神楽堂 三重県伊勢市 真珠煎餅2種  
売上54400円

(株) 米田 富山 新湊YEG しるべかき餅  
売上147500円

売上合計616500円×20%＝123300  
青森YEG輸入部へ支払いました。

菓子製造連携小委員会は、すでに商売が始まっています。小委員長である私(株)米田と松戸の大川氏(株)グランパル、それと野村氏(四国ブロック)の連携で年間2000万円以上の商談が成立しています。

10年度は、これまで限定的でしたが、11年度は、菓子製造連携小委員会に繋がると、菓子製造連携小委員会を継続してOBも参加できるようにお願いします。

|       |    |          |       |
|-------|----|----------|-------|
| 1 新築  | 米田 | 隆彦 (株)米田 | 代表取締役 |
| 2 伊勢崎 | 坂上 | 泰久 坂上印刷  | 代表取締役 |
| 3 深谷  | 前井 | 勇 (株)前井  | 専務取締役 |
| 4 青井  | 前井 | 勇 (株)前井  | 専務取締役 |
| 5 奈良  | 横田 | 博司 (株)横田 | 取締役   |

## 菓子製造 菓子製造連携 小委員会

米田 隆彦

菓子製造連携小委員会は、すでに商売が始まっています。小委員長である私(株)米田と松戸の大川氏(株)グランパル、それと野村氏(四国ブロック)の連携で年間2000万円以上の商談が成立しています。

10年度は、これまで限定的でしたが、11年度は、菓子製造連携小委員会に繋がると、菓子製造連携小委員会を継続してOBも参加できるようにお願いします。

# 一年を振り返って



平成10年度商連会長  
吉本博次

会、第17回の全国会長会議の開催地地の鹿見原、そして花巻にも足を運んでいた。鹿見原、花巻Y.E.G.の皆さん、これから大変であろうがメンバー十九人とって頑張ってください。

下り委員会では、昨年度よりオールカラーとなったこの「翔生」を発行して頂いております。また、全国のY.E.G.の活動を、バックアップし読んでいただけるよう、色々と工夫を凝らしながら取り組んでいただいています。全国各会員の全員に送付されております。是非読んで下さい。

そして本年度は商連のホームページを立ち上げさせていただきます。まだ、色々と問題を抱えていたにもかかわらず、ホームページを立ち上げることができました。ホームページの活用により、全国のY.E.G.の仲間に有意義な情報を発信できるようになり、取り組んでいけるよう期待しております。是非是非ホームページを立ち上げて頂きたいと考えています。また、今年度も、単会の会報と共にホームページのコンテンツも企画させていただきます。数々の応募作品が出て、大変うれしく思っています。特別委員会では、「連携」の切り口を全国各会員の皆様へ発信してまいりました。地域連携・産業連携・製造業連携・建設業連携・全国各地より専門家を募集し、同業種の仲間に足を運ぶなど、自分達の商売を真剣に考え、これからの方向性を、現場のあり方について、所轄の官庁や商売の直接関係者との意見や情報の交換、地方の意見や現場からという動きも出てまいりました。また、全国大会では「青森メッセ」の開催に積極的に関わり、新しい物流システムや新商品、企画などが動きだしています。この動きこそが、Y.E.G.活動の核ともいえます。

こうした各委員会の活動をバックアップしながら、商連の役員会、全国大会、会長研修会において、商連等の運営、年々変わっていく中で、あつちのY.E.G.のあり方について、見直し等、全体に件に関与し、商連規定のY.E.G.ネットワークをスロウダウンさせていくべきか、という動きも出てまいりました。また、Y.E.G.のネットワークをスロウダウンさせていくべきか、という動きも出てまいりました。また、Y.E.G.のネットワークをスロウダウンさせていくべきか、という動きも出てまいりました。

今年度、私の担当である研修委員会の事業「ヤングリーダー研修(六・七月に京都・幕張で開催)」と「翔生塾(八月、浜松からアックで開講)」を行い、ともに我々研修委員会が「開講」で開講し、講師・講師手配・運営全てで「開講」しました。ヤングリーダー研修の講師は、京都府陽明院(イタリヤ・社長)に、幕張は、高原慶一(千葉銀行・会長)から講演して頂いた。特に、ユニチャームの高原社長には、我々ためのプレゼンテーションソフトとレジュメを作ってくれていただき、「日々新たなやりやる気、やるチャンスや経験の交点も」と、ご自分のこれまでの市場と価値創造の機会があり、アントレプレナーの輩出の良い機会である。」と、Y.E.G.に対しての大きな期待を寄せられていた。また、学び、交流を深めるために「グループディスカッション」を取り入れたところ、参加されたY.E.G.の皆さんの活発な意見や発言が、印象に残っています。

専攻を口にし、そして、何よりも多忙であった一年間を支えてくれた、妻、家族、会社、半田Y.E.G.の皆の協力を全て感じることができました。

## 副会長 松本晴之

今年度、私の担当である研修委員会の事業「ヤングリーダー研修(六・七月に京都・幕張で開催)」と「翔生塾(八月、浜松からアックで開講)」を行い、ともに我々研修委員会が「開講」で開講し、講師・講師手配・運営全てで「開講」しました。ヤングリーダー研修の講師は、京都府陽明院(イタリヤ・社長)に、幕張は、高原慶一(千葉銀行・会長)から講演して頂いた。特に、ユニチャームの高原社長には、我々ためのプレゼンテーションソフトとレジュメを作ってくれていただき、「日々新たなやりやる気、やるチャンスや経験の交点も」と、ご自分のこれまでの市場と価値創造の機会があり、アントレプレナーの輩出の良い機会である。」と、Y.E.G.に対しての大きな期待を寄せられていた。また、学び、交流を深めるために「グループディスカッション」を取り入れたところ、参加されたY.E.G.の皆さんの活発な意見や発言が、印象に残っています。

## 副会長 北島重利

私たちが商工業者にとって、また、私自身にとっても平成10年はかつてない厳しい年だったように思います。その様な厳しい年に商連の副会長として、何かが出来たのかと問われ、誠に自責の念にかられることばかりです。今こそ、このような厳しい経済状況からこそ、商連は何をすべきかをしっかりと示すべき時が来たと思います。

## 副会長 田口元美

平成10年度は吉本会長の「果敢に行動、リンキングで感動、Y.E.G.ネットワーク」の副会長としての活動と、広報委員会の担当として、商連の依頼を受けた時は私にできるか不安でしたが、二度と経験できない事なきを得たチャンスと、勉強会を引き受けました。振り返ってみると全国を走り回り多くのY.E.G.同志との出会いの中で、何よりも自分自身を磨き上げていく喜びが大きかったと思います。

## 副会長 六本木信幸

平成10年度の特別委員会は、佐々木委員長のパワフルなリーダーシップの元、有意義な活動が展開されました。4月奈良の意識状況分布式には40名もの出席を戴き、メンバー各位の情熱を感じ、スムーズなスタート

## 副会長 六本木信幸

現在、私の経営する鶴北高建設(総合建設業、社員60名)ではISO9001の取得に向け、資料作りに励んでいます。今後ISOを取得するのだからと、顧客に対しては「取り次ぎと会社づくりをしていかなければ企業としての存続価値が無い」と考えよう。同じように、私たちY.E.G.も社会に認められる組織として理念を持って進んでいきたいと思います。

## 副会長 六本木信幸

初年度の抱負を書きつから約3週間。網走のトラバ、北上での連風、水戸の大洪水、須賀の毒物混入事件、豊田の1000人超の集結、新潟の真珠な長会議、高知・須賀の集中豪雨、秋のウニ、6月なのに酷暑の沖縄、更に、青森の「れん本城」、福島の「ホンペイ」でのキャッシー。まさにリンクして感動、各地にY.E.G.のネットワークをはることが出来た。

専務理事 東浦右智  
年初の抱負を書きつから約3週間。網走のトラバ、北上での連風、水戸の大洪水、須賀の毒物混入事件、豊田の1000人超の集結、新潟の真珠な長会議、高知・須賀の集中豪雨、秋のウニ、6月なのに酷暑の沖縄、更に、青森の「れん本城」、福島の「ホンペイ」でのキャッシー。まさにリンクして感動、各地にY.E.G.のネットワークをはることが出来た。

専務理事 東浦右智  
年初の抱負を書きつから約3週間。網走のトラバ、北上での連風、水戸の大洪水、須賀の毒物混入事件、豊田の1000人超の集結、新潟の真珠な長会議、高知・須賀の集中豪雨、秋のウニ、6月なのに酷暑の沖縄、更に、青森の「れん本城」、福島の「ホンペイ」でのキャッシー。まさにリンクして感動、各地にY.E.G.のネットワークをはることが出来た。

## 監事 吉川博

Y.E.G.活動に携わって9年になります。単会や県連の多くのY.E.G.同志に恵まれ、また支えられ、単会活動、県連活動に参加してきました。それだけの活動の幅が狭小なまま、また仲間にも励まされながら、私自身の未熟と言いつつも引き寄せられた、Y.E.G.活動はありました。それでも、今、仲間の中に学ぶことの喜びを確認して、今からです。

## 監事 吉川博

Y.E.G.活動に携わって9年になります。単会や県連の多くのY.E.G.同志に恵まれ、また支えられ、単会活動、県連活動に参加してきました。それだけの活動の幅が狭小なまま、また仲間にも励まされながら、私自身の未熟と言いつつも引き寄せられた、Y.E.G.活動はありました。それでも、今、仲間の中に学ぶことの喜びを確認して、今からです。

## 監事 吉川博

Y.E.G.活動に携わって9年になります。単会や県連の多くのY.E.G.同志に恵まれ、また支えられ、単会活動、県連活動に参加してきました。それだけの活動の幅が狭小なまま、また仲間にも励まされながら、私自身の未熟と言いつつも引き寄せられた、Y.E.G.活動はありました。それでも、今、仲間の中に学ぶことの喜びを確認して、今からです。

Y.E.G.活動に携わって9年になります。単会や県連の多くのY.E.G.同志に恵まれ、また支えられ、単会活動、県連活動に参加してきました。それだけの活動の幅が狭小なまま、また仲間にも励まされながら、私自身の未熟と言いつつも引き寄せられた、Y.E.G.活動はありました。それでも、今、仲間の中に学ぶことの喜びを確認して、今からです。

Y.E.G.活動に携わって9年になります。単会や県連の多くのY.E.G.同志に恵まれ、また支えられ、単会活動、県連活動に参加してきました。それだけの活動の幅が狭小なまま、また仲間にも励まされながら、私自身の未熟と言いつつも引き寄せられた、Y.E.G.活動はありました。それでも、今、仲間の中に学ぶことの喜びを確認して、今からです。

## 監事 自井修

昨日、口を開けば不況、6色の話ばかりでありましたが、ほんの5、6年前まで株、土地購入を考えないのも経営者の資力がなく、とまで極言されていた事を思い出して下さい。6月、京都でのヤングリーダー研修において、講師の堀場雅夫氏の言葉が心に残っています。今、世界をみて諸君がた日本人生まれて来たというだけで、90点の人生を天からいただいた。(自井修)

## 監事 自井修

昨日、口を開けば不況、6色の話ばかりでありましたが、ほんの5、6年前まで株、土地購入を考えないのも経営者の資力がなく、とまで極言されていた事を思い出して下さい。6月、京都でのヤングリーダー研修において、講師の堀場雅夫氏の言葉が心に残っています。今、世界をみて諸君がた日本人生まれて来たというだけで、90点の人生を天からいただいた。(自井修)

## 監事 自井修

昨日、口を開けば不況、6色の話ばかりでありましたが、ほんの5、6年前まで株、土地購入を考えないのも経営者の資力がなく、とまで極言されていた事を思い出して下さい。6月、京都でのヤングリーダー研修において、講師の堀場雅夫氏の言葉が心に残っています。今、世界をみて諸君がた日本人生まれて来たというだけで、90点の人生を天からいただいた。(自井修)

昨日、口を開けば不況、6色の話ばかりでありましたが、ほんの5、6年前まで株、土地購入を考えないのも経営者の資力がなく、とまで極言されていた事を思い出して下さい。6月、京都でのヤングリーダー研修において、講師の堀場雅夫氏の言葉が心に残っています。今、世界をみて諸君がた日本人生まれて来たというだけで、90点の人生を天からいただいた。(自井修)

昨日、口を開けば不況、6色の話ばかりでありましたが、ほんの5、6年前まで株、土地購入を考えないのも経営者の資力がなく、とまで極言されていた事を思い出して下さい。6月、京都でのヤングリーダー研修において、講師の堀場雅夫氏の言葉が心に残っています。今、世界をみて諸君がた日本人生まれて来たというだけで、90点の人生を天からいただいた。(自井修)

# 『アジア商工会議所連合会 (CACCI) に参加』



『アジア商工会議所連合会 (CACCI)』に参加  
 (火) 28日(水) 29日(木) 30日(金) 31日(土) 1月1日(日) 1月2日(月) 1月3日(火) 1月4日(水) 1月5日(木) 1月6日(金) 1月7日(土) 1月8日(日) 1月9日(月) 1月10日(火) 1月11日(水) 1月12日(木) 1月13日(金) 1月14日(土) 1月15日(日) 1月16日(月) 1月17日(火) 1月18日(水) 1月19日(木) 1月20日(金) 1月21日(土) 1月22日(日) 1月23日(月) 1月24日(火) 1月25日(水) 1月26日(木) 1月27日(金) 1月28日(土) 1月29日(日) 1月30日(月) 1月31日(火) 2月1日(水) 2月2日(木) 2月3日(金) 2月4日(土) 2月5日(日) 2月6日(月) 2月7日(火) 2月8日(水) 2月9日(木) 2月10日(金) 2月11日(土) 2月12日(日) 2月13日(月) 2月14日(火) 2月15日(水) 2月16日(木) 2月17日(金) 2月18日(土) 2月19日(日) 2月20日(月) 2月21日(火) 2月22日(水) 2月23日(木) 2月24日(金) 2月25日(土) 2月26日(日) 2月27日(月) 2月28日(火) 2月29日(水) 3月1日(木) 3月2日(金) 3月3日(土) 3月4日(日) 3月5日(月) 3月6日(火) 3月7日(水) 3月8日(木) 3月9日(金) 3月10日(土) 3月11日(日) 3月12日(月) 3月13日(火) 3月14日(水) 3月15日(木) 3月16日(金) 3月17日(土) 3月18日(日) 3月19日(月) 3月20日(火) 3月21日(水) 3月22日(木) 3月23日(金) 3月24日(土) 3月25日(日) 3月26日(月) 3月27日(火) 3月28日(水) 3月29日(木) 3月30日(金) 3月31日(土) 4月1日(日) 4月2日(月) 4月3日(火) 4月4日(水) 4月5日(木) 4月6日(金) 4月7日(土) 4月8日(日) 4月9日(月) 4月10日(火) 4月11日(水) 4月12日(木) 4月13日(金) 4月14日(土) 4月15日(日) 4月16日(月) 4月17日(火) 4月18日(水) 4月19日(木) 4月20日(金) 4月21日(土) 4月22日(日) 4月23日(月) 4月24日(火) 4月25日(水) 4月26日(木) 4月27日(金) 4月28日(土) 4月29日(日) 4月30日(月) 5月1日(火) 5月2日(水) 5月3日(木) 5月4日(金) 5月5日(土) 5月6日(日) 5月7日(月) 5月8日(火) 5月9日(水) 5月10日(木) 5月11日(金) 5月12日(土) 5月13日(日) 5月14日(月) 5月15日(火) 5月16日(水) 5月17日(木) 5月18日(金) 5月19日(土) 5月20日(日) 5月21日(月) 5月22日(火) 5月23日(水) 5月24日(木) 5月25日(金) 5月26日(土) 5月27日(日) 5月28日(月) 5月29日(火) 5月30日(水) 5月31日(木) 6月1日(金) 6月2日(土) 6月3日(日) 6月4日(月) 6月5日(火) 6月6日(水) 6月7日(木) 6月8日(金) 6月9日(土) 6月10日(日) 6月11日(月) 6月12日(火) 6月13日(水) 6月14日(木) 6月15日(金) 6月16日(土) 6月17日(日) 6月18日(月) 6月19日(火) 6月20日(水) 6月21日(木) 6月22日(金) 6月23日(土) 6月24日(日) 6月25日(月) 6月26日(火) 6月27日(水) 6月28日(木) 6月29日(金) 6月30日(土) 7月1日(日) 7月2日(月) 7月3日(火) 7月4日(水) 7月5日(木) 7月6日(金) 7月7日(土) 7月8日(日) 7月9日(月) 7月10日(火) 7月11日(水) 7月12日(木) 7月13日(金) 7月14日(土) 7月15日(日) 7月16日(月) 7月17日(火) 7月18日(水) 7月19日(木) 7月20日(金) 7月21日(土) 7月22日(日) 7月23日(月) 7月24日(火) 7月25日(水) 7月26日(木) 7月27日(金) 7月28日(土) 7月29日(日) 7月30日(月) 7月31日(火) 8月1日(水) 8月2日(木) 8月3日(金) 8月4日(土) 8月5日(日) 8月6日(月) 8月7日(火) 8月8日(水) 8月9日(木) 8月10日(金) 8月11日(土) 8月12日(日) 8月13日(月) 8月14日(火) 8月15日(水) 8月16日(木) 8月17日(金) 8月18日(土) 8月19日(日) 8月20日(月) 8月21日(火) 8月22日(水) 8月23日(木) 8月24日(金) 8月25日(土) 8月26日(日) 8月27日(月) 8月28日(火) 8月29日(水) 8月30日(木) 8月31日(金) 9月1日(土) 9月2日(日) 9月3日(月) 9月4日(火) 9月5日(水) 9月6日(木) 9月7日(金) 9月8日(土) 9月9日(日) 9月10日(月) 9月11日(火) 9月12日(水) 9月13日(木) 9月14日(金) 9月15日(土) 9月16日(日) 9月17日(月) 9月18日(火) 9月19日(水) 9月20日(木) 9月21日(金) 9月22日(土) 9月23日(日) 9月24日(月) 9月25日(火) 9月26日(水) 9月27日(木) 9月28日(金) 9月29日(土) 9月30日(日) 10月1日(月) 10月2日(火) 10月3日(水) 10月4日(木) 10月5日(金) 10月6日(土) 10月7日(日) 10月8日(月) 10月9日(火) 10月10日(水) 10月11日(木) 10月12日(金) 10月13日(土) 10月14日(日) 10月15日(月) 10月16日(火) 10月17日(水) 10月18日(木) 10月19日(金) 10月20日(土) 10月21日(日) 10月22日(月) 10月23日(火) 10月24日(水) 10月25日(木) 10月26日(金) 10月27日(土) 10月28日(日) 10月29日(月) 10月30日(火) 10月31日(水) 11月1日(木) 11月2日(金) 11月3日(土) 11月4日(日) 11月5日(月) 11月6日(火) 11月7日(水) 11月8日(木) 11月9日(金) 11月10日(土) 11月11日(日) 11月12日(月) 11月13日(火) 11月14日(水) 11月15日(木) 11月16日(金) 11月17日(土) 11月18日(日) 11月19日(月) 11月20日(火) 11月21日(水) 11月22日(木) 11月23日(金) 11月24日(土) 11月25日(日) 11月26日(月) 11月27日(火) 11月28日(水) 11月29日(木) 11月30日(金) 12月1日(土) 12月2日(日) 12月3日(月) 12月4日(火) 12月5日(水) 12月6日(木) 12月7日(金) 12月8日(土) 12月9日(日) 12月10日(月) 12月11日(火) 12月12日(水) 12月13日(木) 12月14日(金) 12月15日(土) 12月16日(日) 12月17日(月) 12月18日(火) 12月19日(水) 12月20日(木) 12月21日(金) 12月22日(土) 12月23日(日) 12月24日(月) 12月25日(火) 12月26日(水) 12月27日(木) 12月28日(金) 12月29日(土) 12月30日(日) 12月31日(月)



# 若手官僚との懇談会

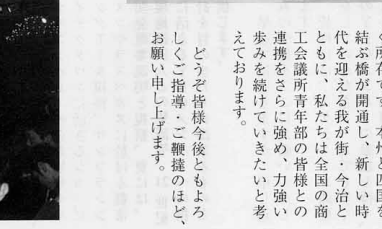
12月1日、昨年に続き新橋の地域交流センターにおいて開催しました。私たちの橋渡しをして頂いた、地域交流センターの田中栄治代表の呼びかけで、今年度も末の予算編成の忙しなか、省庁メンバーの中心であり、省庁メンバーを超えた連携を図る「勇志会」の代表である建設省の高速国道課長の谷口博昭さん、前経済企画庁防犯課長の藤谷真真さん、国土庁防災業務課長の三好勝則さん、経済企画庁の安井誠人さんなど8名のみならず、お集まり頂きました。また、我々YEGも吉本商青連会長を筆頭に六本木、田口、松本副会長、次年度商青連会長予定者の北島さん、専務理事予定者の野村さん、YEGのOBでは、6年度副会長の小谷さん、9年度副会長の河井さんなど15名が参加しました。この中で、地域交流センターの田中栄治代表が、まず「連携センター」構想の推進についてお話をされました。「連携センター」は、地域連携をすすめるようとする市町村が交流連携拠点を設定し、これをネットワークさせようというものであり、それは、市町村境を越えての連携事業の拠点(証し)になるものであり、地域住民の日常的に必要な憩いの場や生活情報の提供はもとより、来訪者の必要な地元情報も提供できる機能を備えるものである。この「連携センター」構想について、YEGに対して、ネーミング審査への参加、具体的な事業への参加の要請もあられた。また、平成11年5月14、15、16日に2泊3日で行われる、全国の「首長合宿交流会」の開催が案内されました。

この日、経済企画庁から参加された安井誠人さんから、英国において実績の上がついている「PFI (Private Finance Initiative)」についての説明と依頼がありました。PFIとは、広く、これまで公的プロジェクトの建設や運営を民間主体に委ね、政府はサービスの購入にのみ関与するという民間資金構想という。安井さんからは、「このPFIを今後全国的に推進していくにあたり、全国各地方でYEGのみならず、他の民間事業者も積極的に参画して欲しい」との依頼がありました。また、この日参加して頂いたメンバーが中心となり、12月22日、安井さんを講師にお招きし、「PFIの勉強会」が地域交流センターで開催することが決まりました。最後に、田中栄治さんと谷口博昭さんの編者により、これまでの地域連携について詳しく書かれた「地域連携がまち・くにを愛する」(小学館出版、定価1,995円)の本のご紹介が、全国のYEGのみならず、地域連携の知識をもっと深めるために、ぜひとも読んで頂きたいとのご要望がありました。



かえりみずと、この2年間私たち今治YEGは、会員総力を挙げて皆様をお迎えするための準備を懸命に進めてまいりました。登録式典、記念講演、分科会、交流会、そして総務と、各担当部会において日夜協議を続け、内容の充実をはかるとともに「私たちがおもてなしの心がこもったものに」という会員一人一人の意識を高めていくことを目指しました。この私たちが目指した先生方や、ご協力いただいた各方面の方々にもご理解いただくことができ、より内容を充実させることができましたように思います。

たればこそと、心から感謝申し上げます。どうぞ皆様今後ともよろしくご指導・ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。



今年、我が街・今治と対岸の尾道を結ぶ本四架橋今治・尾道ルート、「しなまみ海道」の開通する年に、本年度商青連の最終事業となる「全国会長研修会」を開催していただくことは、今治YEGのメンバーにとりては、今治に暮らす私たち市民全員にとりて、ほんとうに光栄な出来事でした。当日何かと不行き届き点があつたことと思えますが、全国から過去名という多くの方々のご登壇をいただき盛大な研修会となりました。また、商青連役員の皆様を始め、運営にご協力いただいた愛媛県連の皆様、そして全国YEGの皆様方のご協力があつ

また、この全国会長研修会のために2年余りにわたって活動してきた当YEGメンバーによる「YEGアタッチメントバンド」も無事ラストステージを飾り、これでめでたく解散。今後各メンバーはソロ活動へと移行することになりました。

いずれにしましても、私たち今治YEGは、今回の全国会長研修会の成功を契機として会員の結束を一段と高めるとともに、「地域を支える若手経済人として」さらなる活動に邁進していく所存です。本州と四国を結ぶ橋が開通し、新しい時代を迎える我が街・今治とともに、私たちが全国の商工会議所青年部の皆様との連携をさらに強め、力強い歩みを進めていきたいと思います。

どうぞ皆様今後ともよろしくご指導・ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

# 「今・つながる今治会議」

# 会長研修会 花巻へ!

# 全国大会 新潟へ!

平成11年度第17回商工会議所青年部  
**全国会長研修会**  
2000年2月8(火)9(水)  
開催地 岩手県花巻市

いま始まる  
新時代  
イーハトーブから

イーハトーブ  
宮沢賢治が想い描いた理想郷  
あらゆる人の一番の幸福、  
岩手県「イーハトーブ」。

主管/花巻商工会議所青年部

万感の思いをこめて、いま純白の里から  
第19回全国大会新潟大会 実行委員長 伴田 宏

私たちが新潟県商工会議所青年部連合会は、「万感の思いをこめて、いま純白の里から」を開催地キャッチフレーズに掲げ、平成11年11月、全国大会・新潟大会を開催します。

今大会は、大都市青年部中心の全国大会ではなく、小都市青年部7単会が連携し合って開催する大会です。これまで商青連が提唱してきた「連携」を具現化するまたとない機会を頂き、感謝に堪えません。小さい単会の集まりではありますが、私たち新潟県連7単会の深い「感謝」と熱き「情熱」を、全国の仲間へ伝えたいと思うのです。

新潟は、海の幸、山の幸に恵まれ、また四季折々の表情を変化させます。その風土が育んだ歴史・文化。中でも最も顕著な例が「食」です。米、酒、魚、厳しい気候風土と戦いつつ育ってきた知恵と工夫、そ

して人情をこの大会で実感していただけたらと願ってやみません。世紀末、まさに混沌とした世情ではありますが、2000年への掛橋となるこの新潟大会を起爆剤として、小さな連携から、全国のYEGへの更なる大きなリンクとなることを期待します。

新潟県連一同、心よりお待ちしております。

来て見て、くんなせや。

| 委員会名         | 検討事項  |
|--------------|---|
| 総務委員会        | ① 会員総会、役員会の開催<br>② 組織、規約等の検討<br>③ 会員拡大<br>④ 商青連のあり方についての検討<br>⑤ その他(他の委員会に属さない事項の検討)  |
| 企画委員会        | ① 第19回全国大会(新潟)への指導、助言<br>② 第17回全国会長研修会(花巻)への企画、運営、助言<br>③ 全国大会、全国会長研修会主催立候補の受理および検討<br>④ 商青連のあり方についての検討   |
| 研修委員会        | ① YEGヤングリーダー研修の企画、開催<br>② 翔生塾の企画、開催<br>③ 商青連のあり方についての検討   |
| 広報委員会        | ① 機関紙「翔生」(第27、28号)の発行<br>② 「石垣」「会議所ニュース」への青年部活動の掲載<br>③ 商青連ホームページの利用促進<br>④ 商青連プロモーションビデオの製作<br>⑤ 商青連のあり方についての検討  |
| アントレプレナーズ委員会 | ① YEG連携事業の推進<br>② 情報の共有化とネットワークづくりによる各地青年部活動の支援<br>③ 小委員会によるビジネスチャンスの調査、研究、実践<br>④ 「ビジネス交流」の操作りの企画、実施<br>⑤ 商青連のあり方についての検討                                   |
| ブロック代表理事会議   | ① ブロック大会開催<br>② 「ブロック別会員名簿」の作成<br>③ 各地青年部、都道府県連合会、ブロック活動支援<br>④ 県別、ブロック別諸会議の開催支援<br>⑤ 未加入青年部の加入促進<br>⑥ 青年部県連の設置促進<br>⑦ ブロック内へ商青連活動の情報提供<br>⑧ 商青連のあり方についての検討 |

## 平成11年度事業計画



今治での広報コンクール表彰

## 広報コンクール

### 広報コンクール 入賞作品決定、表彰

昨年全国のYEGを対象に実施した広報コンクールの入賞作品が決定し、2月今治で開催された全国会長研修会で表彰されました。

入賞作品は左記の通りです。

#### 会報誌(紙)の部

- マンスリー賞  
諫早商工会議所青年部「月刊さばらんか」
- インパクト賞  
福岡商工会議所青年部「福居」
- ユニーク賞  
九竜商工会議所青年部「丸電スポ」
- ビジネス賞  
松阪商工会議所青年部「GIVER」
- ビジュアル賞  
京都商工会議所青年部「まいど」
- ハートフル賞  
長崎商工会議所「青年部だより、N」

#### コンテンツ賞

- コンテツ賞  
高岡商工会議所青年部「Active98」

#### ホームページの部

- デザイン賞  
津商工会議所青年部  
<http://pdh.jp/www/www.jp/jstsu-yeg/>



広報コンクール入賞作品の掲示(今治)

ここ数年の商青連研修事業は、年数回のヤングリーダー研修と、年1回の翔生塾で、全国のメンバーに支持されてきました。平成11年度は「アントレプレナーズスリット」起こりこそ「経済維新の風」のスローガンのもと、ヤングリーダー研修は、より裾野を広げ多くの参加者を迎えたいようにします。

翔生塾はテーマをアントレプレナーズ・フューチャリング・スリットに絞り込んで、JET・RTOやIBM、現地の市役所や商工会議所関係者の協力のもと、シリコンバレーの企業視察やハイテクタウンに生きるジョブビズコやラスベガスに於ける都市開発概要説明と視察、更には、現地経済人との懇談等、21世紀に生きるYEGメンバーへの指針を目的に当りて出来るものを目指します。

**翔生塾(Inアメリカ) 参加者募集!**

早速では有りますが、申し込みの受付をここにお願いたします。

皆様には、スケジュール調整をしていただき、一人でも多くのYEGメンバーの参加を得て、真に役に立つ「翔生塾(Inアメリカ)」としたいと、委員会メンバー一丸となって企画していますので、楽しみにしててください。

■ 期日 平成11年6月9日(水) 6月14日(日) 4泊6日  
■ 訪問先 シリコンバレー、サンフランシスコ、ラスベガス  
■ 参加費 220,000円  
■ (空港利用料等別途要)

各単会へ申込書等をお送りします。奮ってご参加ください。

(本件連絡先)  
全国商工会議所青年部連合会事務局  
日本商工会議所中小企業振興部内  
担当/岩崎・宇田川・小林  
TEL/03(3)38337847  
FAX/03(3)38311406